

主な内容

2面 ■ 震災でも外れなかった「耐震継手管」  
■ ご家庭でできる災害対策

3面 ■ お客さま意識調査・事業所調査の結果  
■ 宅地内老朽給水管の取替えのすすめ  
■ 水道100歳時代

4面 ■ プレゼントコーナー

水道管には様々な種類や大きさがあります。家庭のじゃ口につながる水道管は25mm程の口径ですが、県営水道では最大180cmと大人が立って歩ける程の大きな水道管を管理しています。管理している水道管の総延長は9,200kmにも及び、これは直線距離にすると横浜からアメリカのグランドキャニオンにまで届く程の長さになります。

## もっともっと 地震に強い 県営水道へ

いつも、いつまでも、  
安心の水をお届けするために  
水道管のリニューアルを  
進めています。

最大口径  
180  
cm

神奈川の水守り人

水道施設課  
管路整備センター

**み** らいのために、いまできることを、1歩ずつ。そんな思いで、県営水道は水道管のリニューアルを進めています。

求められるのは、高い耐震性、長寿命…すべては安心安全で良質な水をいつでもお届けするために必要なこと。

災害時にも「あたりまえ」のようにじゃ口から水が出る、そのために県営水道は経営計画で目標を定め、水道施設の耐震化に取り組んでいます。今号では、大口径水道管の耐震化にスポットをあて、工法や効果についてご紹介します。

### 災害時の拠点になる場所への水道管の耐震化を優先しています

浄水場で作られた水道水は、一旦配水池に貯められて、各家庭に送られ

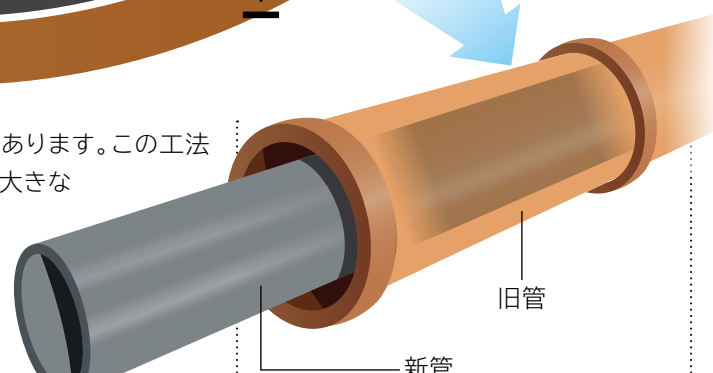
ます。水道管の耐震化を進めるにあたり、優先順位を決めて工事を行っています。最も優先しているのは、県営水道給水区域内に9か所ある災害拠点病院につながる水道管で、平成30年度(2018)までに耐震化の完了を目指しています。さらに、浄水場と配水池をつなぐ基幹的な水道管についても配水池までの水道水の送水が止まってしまうと、広範囲にわたって断水被害をもたらすため、病院と並んで優先的に工事を行っています。

### 「旧管」の中に「新管」！特別な工法

水道管の具体的な交換方法として皆さんがイメージするのは道路を掘り返して交換する方法だと思いますが、それとは違う「パイプインパイプ工

法」という方法があります。この工法の特徴は、口径の大きな水道管の更新の際に、古い管を残したままその中に一回り小さな管を入れてしまうという点にあります。

交換したい箇所の近くに縦穴を掘り、古い管の中に新しい管を挿し込んでいきます。そして作業員が管の中



に入り接合し、古い管と新しい管のすきまに特殊なコンクリートを流し込みます。

この工法では、道路に既設埋設物が多く、新たな敷設スペースが無い場所であっても少ない掘削箇所です工事が進められ、交通量の多いところでも短い期間で水道管を交換できます。一方で、人が中に入って作業をするため、古い管を断水させなければならないことから、水道水の送水ルートを変更するなどの対応をする必要があります。



企業庁のホームページ

神奈川 企業庁

検索



神奈川県モバイルサイト「かなぼけっと」神奈川県営水道のページ

かなぼけっと 水道

検索